令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート(政策的経費)】

	事	項	スひ	め食品買味期限	延長技	:術開発事業費					予算:	主管課	産業創出課
	事		-				<u></u> か 食!	 品の消費・賞味期限	の延星は	古術を確立	始	 渊	R4
	概			った品産業の名はで ことにより、県内企						文师, C 唯立			R6
											不会	[, ,]	Ro
				期限延長の技術									.
			KPI種別 _{時点・期間}	上がると良い指標 R4年度		R 5 年 度 R5年度	時点,期間	R 6 年 度 R6年度	時点·期間	R 7 年 /	<u> </u>	時点·期間	R 8 年 度
	K	P I	M. W.C.	八十八文	目標値		目標値		目標値		件	目標値	一件
			現状値	4 件	実績値		実績値		実績値		件	実績値	件
					達成率	100.00 %	達成率		達成率		%	達成率	%
					最終現計予算額	6,894 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	千円
				スト	決算額	6,454 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
				評価年度(「達成	率100%	6未満」の場合、要	記入。)					
5	要	要因分		総括(事業最終年度	度の場合	合、要記入。)							
#2	見正	直しフ	方向性	現	時点ま を発展	でに想定通りの成	果が得ら	牧善・大幅見直し(られており、県内企 ごあることから、今	業、岡山	山理科大学			
初	事概	業	県内:	業が有する技術を活	iたな産 i用した	業分野への参入を 競争力の高いペッ	-	るため、産学官が連製品の開発を行う。	携して!	県産品や県	始	対	産業創出課 R3 R5
初	事	業	県内:	ものづくり企業の新 業が有する技術を活 よるペット関連商品及び!	「たな産 所した ボ作品件巻	業分野への参入を 競争力の高いペッ な	-	製品の開発を行う。	携してり		始終	湖	R3 R5
初	事	業	県内部内企業に 体業に	ものづくり企業の新業が有する技術を活 よるペット関連商品及び 上がると良い指標	「たな産 「用した 式作品件 数	業分野への参入を 競争力の高いペッ x R 5 年 度	卜関連	製品の開発を行う。 R 6 年 度		R 7 年 J	始終	期	R3 R5 R 8 年 度
初	事概	業	県内・ 内企業 企業に KPI種別 時点・期間	ものづくり企業の新 業が有する技術を活 よるペット関連商品及び!	たな産 用した 式作品件数 _{時点・期間}	業分野への参入を 競争力の高いペッ な R 5 年 度 R5年度	ト関連 _{時点・期間}	製品の開発を行う。 R 6 年 度	時点·期間	R 7 年 J 一	始終	期 期 時点·期間	R3 R5 R 8 年 度
初	事概	要	県内: 内企 企業に KPI種別 _{時点・期間}	ものづくり企業の新 業が有する技術を活 よるペット関連商品及び 上がると良い指標 R5.2	たな産 用した 式作品件 数 _{時点・期間} 目標値	業分野への参入を 競争力の高いペッ な R 5 年 度 R5年度 2 件	ト 関連 時点・期間 目標値	製品の開発を行う。 R 6 年 度 - 件	_{時点·期間} 目標値	R 7 年 J 一	始 終 建	期 明 時点·期間 目標値	R3 R5 R 8 年 度 一 一 件
初	事概	要	県内・ 内企業 企業に KPI種別 時点・期間	ものづくり企業の新業が有する技術を活 よるペット関連商品及び 上がると良い指標 R5.2	たな産 用した 式作品件数 _{時点・期間}	業分野への参入を 競争力の高いペッ な R 5 年 度 R5年度 2 件 4 件	ト関連 _{時点・期間}	製品の開発を行う。 R 6 年 度 - 件 件	時点·期間	R 7 年 J 一	始終	期 期 時点·期間	R3 R5 R 8 年 度
初	事概	要	県内: 内企: 企業に KPI種別 時点・期間 現状値	ものづくり企業の新業が有する技術を活 よるペット関連商品及び 上がると良い指標 R5.2	たな産 用した 式作品件数 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	業分野への参入を 競争力の高いペッ な R 5 年 度 R5年度 2 件	上 関連 時点·期間 目標値 実績値	製品の開発を行う。 R 6 年 度 - 件 件 %	時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予	R 7 年 J 一	按 終 全 件	期 明 時点·期間 目標値 実績値	R3 R5 R 8 年度 一 一 件 件
初	事概	要	県内: 内企: 企業に KPI種別 時点・期間 現状値	ものづくり企業の新 業が有する技術を活 よるペット関連商品及び 上がると良い指標 R5.2 7 件	た 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	業分野への参入を 競争力の高いペッ k R 5 年 度 R5年度 2 件 4 件 200.00 % 2,554 千円 1,927 千円	上 時点·期間 目標値 達成率 最終類類 決算額	製品の開発を行う。 R 6 年 度 件 - 件 - 件 - 外 - 千円	時点·期間 目標値 実績値 達成率	R 7 年 J 一	变 答 件 件 %	期 時点·期間 目標値 実績値 達成率	R3 R5 - 件 - 件 - 件 - 件 - 件
初		要	県内・ 企業に KPI種別 現状値	ものづくり企業の新業が有する技術を活 よるペット関連商品及び 上がると良い指標 R5.2 7 件 スト 評価年度(「達成学	た 大 大 大 大 大 大 大 大	業分野への参入を 競争力の高いペッ R 5 年 度 R5年度 2 件 4 件 200.00 % 2,554 千円 1,927 千円 6未満」の場合、要	関連	R 6 年 度 件 - 件 - 件 - 外 - 千円 - 千円 - 1	時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終期額 決算額	R 7 年 /	度 件 件 % 千円 千円	期 明 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予算額 決算額	R3 R5 R 8 年 度

٦,	当初	事 項	冷感	紙関連技術創出	事業費	İ					予算主	上管課	産業創出課
		事業	国内i	 市場の縮小等によ	り、生産	量が減少している	るため、	新たな分	始	期	R5		
								品の開発に取り組む			終	———— 期	R6
			新技	 術・新素材開発	 6件数								l
			KPI種別	上がると良い指標		 R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 J	 芰		 R 8 年 度
			時点・期間			R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間			時点·期間	T
		K P I			日標値	2 件	目標値	2 <mark>件</mark>	目標値	_	件	目標値	一件
			現状値	一件	 実績値	***	実績値		実績値		件	実績値	件
					達成率		達成率		達成率		%	達成率	%
					最終現計予	4,500 千円	最終現計予	·····································	最終現計予		千円	最終現計予算額	千円
			□	スト	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,	^{算額} 決算額		^{算額} 決算額		千円	決算額	千円
ŀ					 战率100%		L						, , , ,
	5 年	要因分		総括(事業最終年	≡度の場合	合、要記入。)							
	度	見直しフ	方向性	3	現時点ま	でに想定通りの成身	果が得ら	な善・大幅見直し(られており、更なる) 、見直しは想定して	冷感性(の向上に向い	ナた研究開	発や試作	品の改良等により、今
4	当初	事 項	地場	産品イノベーシ	ノョン支	援事業費					予算主	上管課	産業創出課
		事業	生産	額が年々減少す	る愛媛	の伝統的特産品	 の新た	な市場を開拓す	るため	 、デザイ	始	期	R4
		概要	 			+ +	揺する				終	++=	R5
	-		ープ性	が高く、機能性	とに優れ	た商品開発を文:	$\mathbf{J} \times \mathbf{J} \simeq \mathbf{J} $	0			., .,	捌	
			- -									期 ————	1.0
			愛媛	県の伝統的特産	E 品事業	の新商品・事業		(累計)				期	
			- -	県の伝統的特 角 上がると良い指標	E品事業	の新商品・事業 R 5 年 度	化件数			R 7 年 J	芰		R 8 年 度
		КРІ	愛媛	県の伝統的特産	票 時点 期間	の新商品・事業 R 5 年 度 R5年度	化件数 _{時点·期間}	X (累計) R 6 年 度	時点·期間	_		時点·期間	R 8 年 度 一
		КРІ	愛媛 KPI種別 時点・期間	県の伝統的特 角 上がると良い指標 R4年度	票 時点・期間 目標値	の新商品・事業 R 5 年 度 R5年度 6 件	化件数 時点·期間 目標値	X (累計) R 6 年 度 件	目標値		件	時点·期間 目標値	R 8 年 度 一 一 件
		K P I	愛媛	県の伝統的特 角 上がると良い指標	票 時点·期間 目標値 実績値	の新商品・事業 R 5 年 度 R5年度 6 件 7 件	化件数 時点·期間 目標値 実績値	(累計) R 6 年 度 件 件	目標値実績値	_	件件	時点·期間 目標値 実績値	R 8 年 度 一 一 件 件
		K P I	愛媛 KPI種別 時点・期間	県の伝統的特 角 上がると良い指標 R4年度	票 時点・期間 目標値 実績値 達成率	R 5 年 度 R5年度 R5年度 6 件 7 件 116.67 %	化件数 時点·期間 目標値 実績値 達成率	(累計) R 6 年 度 件 件 件	目標値 実績値 達成率	_	件 件 %	時点·期間 目標値	R 8 年 度 - - - - - - - - - - - - -
		K P I	愛媛 KPI種別 時点・期間	県の伝統的特度 上がると良い指標 R4年度 4 件	票 時点·期間 目標値 実績値	R 5 年 度 R5年度 R5年度 6 件 7 件 116.67 % 1,300 千円	化件数時点·期間目標值実績值達成率最終現計予算額	R 6 年 度 件 件 件 % 千円	目標値 実績値 達成率 ^{最終現計予}	_	件 件 % 千円	時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予算額	R 8 年 度 - - - - - - - - - - - - -
		КРІ	愛媛 KPI種別 時点·期間 現状値	県の伝統的特度 上がると良い指標 R4年度 4 件	票 時点·期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予 算額 決算額	R 5 年 度 R5年度 R5年度 6 件 7 件 116.67 % 1,300 千円 1,191 千円	化件数 時点·期間 目標值 実績値 達成率 最終現計予 算額 決算額	(累計) R 6 年 度 件 件 件 % 千円	目標値 実績値 達成率	_	件 件 %	時点·期間 目標値 実績値 達成率	R 8 年 度 - - - - - - - - - - - - -
	5 年	K P I	交媛 KPI種別 時点·期間 現状値	県の伝統的特角 上がると良い指標 R4年度 4 件 スト 評価年度(「達成 経括(事業最終年度の 延べ6社が事業に参加	票 時点・期間 目標値 実 減額 決算額 次率100% 場合、各社に である といっこう はいい こうしん こうしん おいい こうしん こうしん おいい こうしん おいい こうしん こうしん おいい こうしん おいい こうしん おいい こうしん おいい こうしん おいい こうしん おいい こうしん はいい こうしん はいい こうしん こうしん はいい こうしん はい こうしん はいい こうしん はいい こうしん はいい こうしん はい こうしん はいい こうしん はい こう はい こう はい こう はい こう はい こうしん はい はい こうしん はい	R 5 年 度 R5年度 6 件 7 件 116.67 % 1,300 千円 1,191 千円 6未満」の場合、要	化件数 時点・期間 目標値 実績値 達成率 最終現計予 算額 記入。	R 6 年 度 (件 件 の ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	目標値 実績値 達成率 ^{最終現計予} 資額 決算額	一 一	件 件 % 千円 千円	時点・期間 目標値 実績値 達成率 ^{最終現計予算額} 決算額	R 8 年 度 - - - - - - - - - - - - -

5	当初	事 項	愛媛	セルロース	ナノ:	ファイ	バー関連技術社	会実装	事業費			予算主	管課	産業創出課
		事業	CNF	(セルロースナ	-ノフ	アイバ	一)先進県を目指	し、柑橘	第ナノファイバーの	ブラン	ド化とこれ	始	———— 朝	R4
		要 来 概 要	まで	导られたCNF技	術シ	ーズの	社会実装化を進め	るととも	5に、人材育成に継	続して耳	取り組むこ			
		1270	とで、	県内CNF関連	産業	の活性	化を図る。					終	リ	R6
			セル	ロースナノフ	フアー	イバー	関連製品化件数							
			KPI種別	上がると良い	指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 J	芰		R 8 年 度
		KPI	時点・期間	R1~4.1	0	時点·期間	R 1 ~5年度	時点·期間	R1~6年度	時点·期間	_		時点·期間	_
		K I I				目標値	8 件	目標値	10 件	目標値	_	件	目標値	一件
			現状値	7	件	実績値	9 件	実績値	件	実績値		件	実績値	件
						達成率	112.50 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
				7 1		最終現計予 算額	5,848 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			コ	スト		決算額	5,703 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
	5	要因分	祈	評価年度(「)			6未満」の場合、要 	記入。)						
	年 度	見直した	5向性	維持	現 フ	時点ま ァイバ	でに想定通りの成績	果が得ら		社会実績	支化に向けた			研究、並びに柑橘ナノ 込めるため、見直しは
6	当初	事 項	新感		全業 活	 舌性化	支援事業費					予算主	 管課	産業創出課
									n± (1)			始		R4
									り、時代のニーズに		これまで			
		概要	ひ力五角	究にこりわれる	ドレ 1末八	には発	2019テリインを取	リ人れの	た商品開発を支援す	<u>ි</u>		終	朝 	R5
			新た	に生み出され	てる話	低部烷	のデザイン数(累計)						
			KPI種別	上がると良い	指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 J	芰		R 8 年 度
		D. T	時点・期間	R4年度見	込	時点·期間	R5年度	時点·期間	_	時点·期間	_		時点·期間	_
		KPI				目標値	30 点	目標値	一点	目標値	_	点	目標値	一点
			現状値	20	点	実績値	53 点	実績値	点	実績値		点	実績値	点
						達成率	176.67 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
						最終現計予 算額	8,384 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額		千円	最終現計予算額	千円
				X			7,582 千円	決算額	千円			千円	決算額	千円
	5 年度	要因分析 要因分析 総括(事業最終年度の場合、要記入。) 「首都圏での大型展示会や海外での販路開拓支援、クラウドファンディングを活用した商品開発支援など、砥部焼産業の振興に寄与する取組みを実施したことが数多く生み出され、目標を大幅に上回るKPIの達成及びKGI実績値の向上に好影響を与えることが出来た。令和6年度からは「えひめの伝統工芸活性化支援・低部焼産地をけん引するリーディングカンパニーの育成を通じて、更なる業界全体の底上げを図る。												
		見直した	方向性											

当初	事 項	新技	術開発プロジェク	クト支	援事業費					予算主	管課	産業創出課
	事業	県内:	 企業の競争優位性を	確保し	 、県内経済の持続的	的な発展	長を図るため、中小	企業者	が実施する	始	期	R5
	概要	新製品	品や新サービスの展	開につ	ながるコアな技術	開発を引	5援する。			終.	期	R7
		新技	術開発や新商品	開発を	した県内企業数							
		KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 原	支		R 8 年 度
	K P I	時点・期間	_	時点·期間	R5年度	時点·期間	R5~6年度	時点·期間	R5~7年月	į	時点·期間	_
				目標値	2 件	目標値	4 <mark>件</mark>	目標値	6	件	目標値	一件
		現状値	一 件	実績値	5 <mark>件</mark>	実績値	件	実績値		件	実績値	件
				達成率	250.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			スト	最終現計予 算額	31,203 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			A F	決算額	26,853 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
			評価年度(「達成率	区100%	6未満」の場合、要	記入。))					
	要因分		公托 / 古光目级左尾	5 A HI /	\ =-1.1 \							
			総括(事業最終年度 	夏の場合	3、安記人。)							
5												
年度			見	直し内		産止・改		事業組替	 替等))			
152										計上した	予算規模を	を踏まえると、KPIは
				標達成	すると考えられるこ	ことから	ら、今年度の執行方法	法等の見	見直しは想定	こしていな	しい。	
	 	L	ν#+ +									
	見直した	可问性	維持									
11. ≯π		1444			æ							÷ ₩ Δυ. ι = m
当初	事 項	機能	性食品等開発支持	发事 某	賀 —————					予算主 	E管課 ————	産業創出課
	事 業	地域	経済の活性化を図る	ため、	県内の産業・企業の	の特徴を	と踏まえた、機能性	表示食品	品の開発や	始	期	R2
	概要	医療	・福祉機器などヘル	スケア	産業への参入を支持	爰する。				終	期	R7
		消費	者庁への機能性類	表示食	品の届出件数							
		KPI種別			R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 原	Ę		R 8 年 度
	K P I	時点・期間	R4年度	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	R7年度		時点·期間	
				目標値	3 <mark>件</mark>	目標値	3 <mark>件</mark>	目標値	3	件	目標値	一件
		現状値	2 件	実績値	4 <mark>件</mark>	実績値	件	実績値		件	実績値	件
				達成率	133.33 %	達成率	%	達成率		%	達成率	%
			スト	最終現計予 算額	3,140 千円	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額	千円
			A F	決算額	2,928 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円
			評価年度(「達成率	区100%	あ未満」の場合、要	記入。))					

9	当初	事	項	産学	官連携推進事業	費						予算主	E管課	産業創出課	
		事	業						をし、研究開発と事			始	———— 期	H14	
			要		るとともに、外部貿 る体制を強化する。	金を対	率的に獲得できる。	よう、打	支術プロジェクトの ⁷	育成を	総合的に支	終	 期		
				_	宮共同研究件数										
				KPI種別	上がると良い指標		R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 』		ı	 R 8 年 度	
				時点・期間	エがると良い指標 R5.2		R5年度 R5年度	時占,期間	R6年度	時占.期間	R7年度	支	時占,期間	R8年度	
		KF		70/10	1(3.2	目標値	4件	目標値		目標値		件	目標値	4件	
				現状値	4 件	実績値	4 件	実績値		実績値		<u>''</u> 件	実績値	件	
						達成率	100.00 %	達成率		達成率		%	達成率	%	
						最終現計予	46,431 千円	最終現計予	千円	最終現計予		千円	最終現計予算額	千円	
					スト) 決算額	•	^{算額} 決算額	-	決算額		千円	決算額	千円	
	5 年	要	更因分		総括(事業最終年月		,								
												想定していない。			
10	2月	事	項	産業	技術研究所耐震	坎修 設	計事業費					予算主	上管課	産業創出課	

10 2月	事項	産業	技術研究所耐窟	建改修設	計事業費					予算目	 È管課	産業創出課	<u> </u>
補正後	事 業	16-70		T+ /D -		L / N= =================================				始	 ·期	R5	
	概要	施設 	利用者等の安全	産権保の	ため、産業技	支術研究的	fの耐震改修設計	を行う	0	終	期	R6	
		耐震	改修設計完了書	 合									
		KPI種別	上がると良い指	票	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年)	芰		R 8 年 度	
	K P I	時点・期間	_	時点·期間	R5年度	時点·期間	R6年度	時点·期間	_		時点·期間	_	
				目標値	0 %	目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	_	%	目標値	_	%
		現状値	- %	実績値	0 %	実績値	%	実績値		%	実績値		%
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率		%	達成率		%
			スト	最終現計予 算額	30 千	最終現計予 算額	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
			Λ F	決算額	15 千	円 決算額	千円	決算額		千円	決算額		千円
5 年	要因分	分析	いことから、令和 総括(事業最終年	6年度に	ご予算を繰り越 ふ、要記入。)	し、設計期				, JCLXII	**************************************		
度	見直し	方向性			容の説明(維持を中の設計完了		牧善・大幅見直し でいる。	事業組	替等))				

11 12月	事:	項 產		研究機	器整備事業費					予算主	 E管課	産業創出課	
補正後	事:	業 中/	い企業の製品開発を	カ向上	等を支援するため	 め、産	 業技術研究所の	幾器を	 整備す	始	期	H30	
	概	要る。								終.	期	R6	
		機器	岩等整備進捗率										
		KPI種	上がると良い指標	·····································		R 8 年 度							
	K P	時点・期 T		時点·期間	R7年度		時点·期間	R8年度					
		1		目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100 <mark>%</mark>	目標値	100	%	目標値	100 <mark>%</mark>	
	現状値 - % 実績値 100 % 実績値 % 実績値										実績値	%	
				達成率		%	達成率	%					
				最終現計予 算額	55,454 千円		千円	最終現計予算額	千円				
		-	コスト	決算額	49,335 千円	決算額	千円	決算額		千円	決算額	千円	
5 年	要[因分析	総括(事業最終年度	度の場合	合、要記入。)								
度	年 日本、大京で学品(2011年) 「東京、大京の学品(2011年) 「東京、大京の学品(2011年) 「東京、大京の学品(2011年)」 「東京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京、大京												
12 当初	事	項 產	美技術研究所試験	研究費	<u> </u>					予算主	三管課	産業創出課	

12	当初	事 項	産業	技術研究所試験	研究費	<u> </u>					予算主	 E管課	産業創出課	
		事 業	地域	 産業の活性化を図	るため、	 産業技術研究所が	 各分野(こおける課題解決に	向けたで	研究に取り	始	 期	H20	
		概要	組むる	ことにより、県内	中小企業	の技術力向上及び	新製品原	開発につなげる。			終	期		
			試験研究・基礎研究数(本事業分) KPI種別 上がると良い指標 R 5 年 度 R 6 年 度 R 7 年 度 R											
			KPI種別		Ž		R 8 年 度							
		K P I	時点・期間	R5.1	時点·期間	R7年度			R8年度					
					目標値	1.7	目標値		目標値			目標値	10 件	
			現状値	10 件	実績値	10 件	実績値		実績値		件	実績値	件	
					達成率	100.00 %	達成率		達成率		% ==	達成率	%	
			コ	スト	算額	10,700 千円	算額	千円	算額		千円	最終現計予算額	千円	
				==/=/= /_ []=-	決算額	9,907 <mark>千円</mark> 6未満」の場合、要	決算額	1 1 2	決算額		千円	決算額	千円	
	5 年	要因	-	総括(事業最終年		•	÷., -							
	度	見直し方向性 維持 見直し内容の説明(維持・廃止・改善・大幅見直し(事業組替等)) 想定通りの成果が得られており、今年度も県内中小企業の技術高度化や新商品開発につながる研究課題を選定することとしているため、見直しは想定していない。												

13	初	事	項 5	G活用イ	/ノベーシ	ョン創	出事業費							予算主	上管課	産業創出	課
		事	業多	くの産業	(に変革を	もたら	す可能性が	がある5	Gを流	5用した打	支術や新	f製品 <i>0</i>)研究開	始	期	R3	
		概	要 発	等を支援	愛すること	により	、県内企業	業の競争	争力の	向上を図	る。			終	期	R6	
			5	G関連技	技術の導入	・製品	化件数										
			KPI種	別 上がる	と良い指標		R 5 年 度	Ę		R 6 年			R 7 年)	度		R 8 年 月	支
		K P I												時点·期間	_		
						目標値	3 '	件	目標値	_	件	目標値		件	目標値	_	- 件
			現状	直 1 件		実績値	9	件	実績値		件	実績値		件	実績値		件
						達成率	300.00		達成率		%	達成率		%	達成率		%
				コスト	_	最終現計予 算額	9,066	千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予 算額		千円	最終現計予算額		千円
				_		決算額	8,167	千円	決算額		千円	決算額		千円	決算額		千円
	5年	要[因分析	総括(合、要記入。	,									
Ţ		日本人中央の説明(外社・廃止・水羊・上崎日本人(東州の辞祭))												こいない。			